平成31(令和元)年度 自己評価表[年度当初]

鳥取県立鳥取東高等学校

中長期目標 (学校ビジョン)

さまざまな教育活動を通して、21世紀の鳥取そして日本を支える人材の育成に努める。

今年度の 重点目標

1 自分の将来をはっきりと思い描き、その目標に向かって努力する主体性を育成する 2 社会のどこかを支える人間、一隅を照らす人に育てる 3 他者を思いやる優しさ(親和)、困難に立ち向かう逞しさ(克己)、探究しようとする積極性(進取)を育成する

連路指導の強化 ②高い・進路目標を掲げ努力する生徒が出てきているが、現状で満足している生 をも多く見られる。 ③音生を中心に多くの生徒が自習室を利用しているが、利用ルールが守られて 「合の将来修を設計し、実現に向けて主 体的に努力する力を育成する。 〇古響生利用形像地している。 〇は書館川田をか生徒・教員とも増加して、120冊であった。(明29は5、455冊)技 業に向する関連制度が単生・教員とも増加して、120冊であった。(明29は5、455冊)技 業に向する回動制度が単日、1時間以上の生徒が60%。 「の現鑑意識を持ち、除凍・安全に関する自己者理のできる生徒の育成。 〇月総車通学マナーに対する地域からの苦情件数は15件、一昨年度(9件)と比べて半減 「自己者理のできる生徒の育成。 〇里を対して発生している。 〇里を対している。 〇里を対している。 〇里を対している。 〇国を対している。 〇国を対している。 〇国を対している。 〇コ・生きない関連を対している。 〇国を対している。 〇国を対している。 〇コ・生きない関連を対している。 〇国を対している。 〇コ・生きない関連を対している。 〇コ・生きない関連を対している。 〇国を対している。 〇コ・生きない関連を対している。 〇国を対している。 〇コ・生きない関連を対している。 〇コ・生きない関連を対している。 〇コ・生きない関連を対している。 〇国を対している。 〇コ・生きない関連を対している。 〇コ・モー・アンオン等の適切な使用を含め、健康的で良 対な生活習得が確立しており、平日使用 1時間以上の 生気の割合が減少している。 〇日・転車通学マナーに対する地域からの苦情件数は15件、一昨年度(9件)より 「自私車通学マナーに対する地域からの苦情性数は15件、一時年度(9件)より 「自私車通学マナーに対する地域からの苦情性数は15件、一時年度(9件)より 「自私車通学マナーに対する地域からの苦情性数は15件、一時年度(15件)と比べて半減 「自己者理のできる生徒の育成。規範を識の向上を目的とする各種業演会を設ける。 〇生活習用の次第、規範を識の向上を目的とする各種業演会を表する。 ○共活習用の次第、規範を識の向上を目的とする各種業演会を表する。 ○共活習用の次第、規範を識の向上を目的とする各種業演会を表する。 ○共活習用の次第、規範を識の向上を目的とする各種業演会を表する。 ○共活習用の次第、規範を識の向上を目的とする各種業演会を表する。 ○共活習用の次第、規範を識の向上を目的とする各種業演会を表する。 ○共活習用の次第、規範を識の向上を目的とする各種業演会を表する。 ○共活習用の次第、規範を識の向上を目的とする各種業演会を表する。 ○共活習用の次第、規範を識の向上を目的とする各種業演会を表する。 ○共活習用の次第、規範を適いの上を目的とする各種業演会を表する。 ○共成者の方は、対域と表する。 ○共変目の次第、規範を通の内上を目的とする各種業演会を表する。 ○共変目の次第、規範を表する。 ○共変目の次第に対しまれる。 ○共変目の表述と表する。 ○共変目の表述を対して、主ないと表述と表する。 ○共変目の表述を表する。 ○共変目の表述を表述を表する。 ○共変目の表述を表述を表述を表する。 ○共変目の表述を表述を表述を表述を表述を表述を表述を表述を表述を表述を表述を表述を表述を表							評価結果 月		
# Professional Transport (1)	評価項目	評価の具体項目	現状	目標(年度末の目指す姿)	目標達成のための方策	経過・達成状況 %は生徒・保護者アンケート結果	評価	改善方策	
	人関力の呑成	力で追いかけ、主体的に行動する生徒			覚させるとともに、他者とのより良い関わり方を身に				
			極的に行動する姿勢がやや欠けている。	体的に参加している。	○各種活動や事業の生徒への広報方法を再検討し、生				
### 1997年1997 (1997年) 1997年				○社会についての広く深い理解力がある。	○ボランティア活動への積極的な参加を推進する。				
### 1995 (1995 年 1995 年 1995 年 1995 年 1995 日 1995									
### 12 (1994年) 1990 (1994年) 1	 学習指導の充実と 進路指導の強化 	備と「確かな学力」に繋がる主体的・							
2 (日本語の			○大学入試改革に対応した教育課程の編成や評価方法について検討する必要が ある。						
### 12									
2. 性語類の主題		己の将来像を設計し、実現に向けて主			り方を振り返らせるとともに、取り組むべき内容につ				
### (PASS APP APP APP APP APP APP APP APP APP					通して、主体的学習や進路意識向上を促し支援する。				
### (2015年の19年2年) - PMRALE (下書報記ま) - PMRALE (下書報記ま) - A PMRALE (下書》記ま) - A PMRALE (下書》記書) - A PMRALE				○ルールを守っての自習室利用が促進している。					
□ (中国の			│ ○生徒面談や「鳥取学」、進路LHR、各種講演会等をとおして進路意識が高まり		た進路プログラム、各学年の「進路だより」などによ				
記憶産業を作う、機能・少の公司			○図書貸出冊数が生徒・教員とも増加し7,120冊であった。(H29は5,455冊)授		る。また授業及び図書館からの魅力ある情報提供をと				
公民総合発育も、設定・企立に対している。				好な生活習慣が確立しており、平日使用1時間以上の	て利用することの啓発を継続する。生徒会からの呼び				
特別では、				○自転車通学マナーが向上し、苦情件数、登下校時の	○生活習慣アンケート、自宅学習時間調査などを実施				
 * 販売金利明上と 機能・安全型部の 反ころの健康を増進し、いじめや金別 会計さない電子を使用している。 のようの健康を増進し、いじめや金別 会計さない電子を使用しないできる場合関係している。 の表さまない電子を使用が見ないである。 の表さまない電子を使用が見ないる。 の表さまない電子を使用が見ないる。 の表さまない電子を使用があないである。 の表さまない電子を使用が見ないる。 の表さまない電子を使用がしたいたの主要の情報を他に、、 の表さな人関係の中でも多く心器を含なとり、自分の系質する認識文 の数立な人関係の中で他人が傷のくようなを言かなまることがある。 の地域の他に上来有している。 の地域の他に上来有している。 の地域の他に上来有している。 の地域を通路と内構なし、PTA商館 の地域と関係が関係がある。 ので表さ、気気を発を手する。 のが成立、気気を発を手する。 のが成立、気気を発を手する。 のが成立、気気を発を手する。 のが成立、気気を発をする。 のが成立、気気を発をしている。 のでは、気気を発をである。 のでは、気気を発をしている。 の中の機能をである。 の中の機能をである。 のでは、気気を発をである。 の中の機能をである。 のでは、気気を発をである。 の中の機能をである。 のでは、気気を発をである。 の中の機能をである。 のでは、気気を発をである。 のでは、気気を発をである。 の中の機能ので関係がある。 のでは、気気を発をである。 のでは、気気を発をである。 のでは、気気を発をである。 のでは、気気を発をである。 のでは、気気を発をである。 のでは、気気を発をである。 のでは、気気を発をがある。 のでは、気気を発をである。 のでは、気気を発をがある。 のでは、気気を発をがある。 のでは、気気を発きがある。 のでは、気気を発をがある。 のでは、気気を発をがある。 のでは、気気を発をがある。 のでは、気気を発をがある。 のでは、気気を発をがある。 のでは、気気を発して、、変しのとは、して、できないのでは、また、 をのでは、気気を発して、できないのでは、また、 をのでは、気気を発して、また。 のでは、気気を発して、また。 のでは、気を発して、、気を、 をのでは、気気を発して、、なる、 をのでは、気が、して、このでは、このでは、このでは、このでは、このでは、このでは、このでは、このでは				事故件数が減少している。	○生活習慣の改善、規範意識の向上を目的とする各種				
 充実 ○ 企の砂糖(高齢)に生化が関連の配便を全有を図る合画を指揮している。					○決められた自転車通学ルートの通行徹底と登下校時 の交通安全指導を行う。				
公主までまた背景を視点の中で不安や心配を約えたり、自分の希望する連携を表している。		回心分の健康を増進し、いしので <u>左</u> 的							
○教室や友人関係の中で他人が修っくような発言がなされることがある。 ○生産の自己表現・進路実現にとって必要な情報を表 ○大部開展と連携し、生産の状況程程と関係観点間の 精神共布と適宜行う。 ○外部開展と連携し、生産の状況程程と関係観点間の 精神・作る遠互行う。 ○外部開展と連携し、生産の状況程程と関係観点間の 精神・作る違互行う。 ○地域と連携を再構築し、PT A活動 の実実・発展を推進する。 ○学校業・進度構築会・公園人権教育は中・FTA行事などの行事に保護者が関係 の実実・発展を推進する。 ○学校・進度構築会・公園人権教育は中・FTA行事などの行事に保護者が関係 ○アエ行事に参加する保護者が増加する。 ○PTA行事に参加する保護者が増加する。 ○PTA行事に参加する保護者が増加する。 ○PTA行事に参加する保護者が増加する。 ○PTA行事に参加する保護者が増加する。 ○学校・連携を持ち、また、生産・対し、生産な関係の事に保護者が関係 ○学校・連携機会・公園人権教育は中・FTA行事などの行事に保護者が関係 ○PTA行事に参加する保護者が増加する。 ○PTA行事に参加する保護者が増加する。 ○PTA行事に参加する保護者が増加する。 ○PTA行事に参加する保護者が増加する。 ○PTA行事に参加する保護者が協力して、保をな関係的ら作権の保護を対し、主な、また、学校ホームページの定用を含むに発展されて、学校・表に一心であるともした。 ○PTA行事に参加を指摘がいて、保証ができるように取り組むように努力して、学校・表に一心であるともした。 ○PTA行事に参加する保護者が協力して、保をな関係的に振わった。また、生、たり有効な使用があるとともに表現が保護されて、この表現を使用がいて、会に対していて、会に対していて、会に関係といて、自動などの情報を使用といて、会に関係を含む、このとの関係を使用といて、会に対していて、会に関係を含む、このとの関係を表して、自動などの保護と部活動に係る方針の場合とともに提出して、自動などの発展とおいましていて、会に関係を含むが、このとの関係を表して、このと表記を表して、このとの関係を表して、このとの関係を表して、このとの関係を表して、このとの関係を表して、このとの関係を表して、このとのに関係を表して、とのに関係を表して、このとのに関係を表して、このとのに関係を表して、このとのに関係を表して、このとのに関係を表して、このとのに関係を表して、このとのに関係を表して、このとのに関係を表して、このとのに関係を表して、このとのに関係を表して、このとのに関係を表して、このとのに関係を表して、このとのに関係を表して、このとのに関係を表して、このとのに関係を表して、このとのに関係を表して、このとのに関係を表して、このに関係を表して、このとのに関係を表して、このとのに関係を表して、このとのに関係を表して、このとのに関係を表して、このとのに関係を表して、このに関係を表して、このに関係を表して、このに関係を表して、このに関係を表して、このに関係を表して、このに関係を表して、主に関係を表して、このに関係を表して、このに関係を表して、このに関係を表して、このに関係を表して、このに関係を表して、主に関係を表して、主に関係を表して、表して、主に関係を表して、主に関係を表して、といるとなり、主に関係を表して、			○さまざまな背景や環境の中で不安や心配を抱えたり、自分の希望する進路実	適切に対応している。	者と担任、学年と保健部の連携をはかり、必要に応じ				
○様々な行事に知いて地域との連携をでいる。 ○様々な行事に知いて地域との連携が進んでいる。 ○様々な行事に知いて地域との連携をが進んでいる。 ○様々な行事に知いて地域との連携をが進んでいる。 ○学校等・進路監論会・公園人権教育J版・PTA行事などの行事に保護者が積極 の元実・発展を推進する。 ・ 受したと地域・保護者が協かして、様々な問題から生物であれる。 ・ では、学校で、企業を表明的に発行し、学校ホームページの活用も進んでいる。 ・ では、学校ホームページの活用も近んでいる。 ・ では、学校ホームページを利用して、学校・では、自動や同かなどで、実施を加り出して、学校・では、自動や同から生物で、現まが協力して、特々な問面から生物で、現まが協力して、様々な問面から生物で、現まが協力して、様々な問面がら生物で、現まが協力して、様々な問面がら生物で、現まが協力して、様々な問面がら生物で、現まが協力して、様々な問面がら生物で、現まが協力して、様々な問面がら生物で、現まが協力して、様々な問面がら生かい。 ・ では、学校ホームページを利用して、学校・学校ホームページを利用して、学校・学校ホームページを利用して、学校・学校ホームページの活用も近んでいる。 ・ の最祖に報題を定期的に発行し、学校ホームページの活用も近んでいる。 ・ の最祖に報題とつか、京都誌でとで生物の学校で、では、・ する連続的に進めるととして、人によりのは目的ときに発展されて、現まさかに対して、保護者の対しになえていて。 ・ の最祖を復植的に伝えていて。 ・ の最祖を復植的に伝えていて、・ の最初に配慮してから、内が表記を定義のある。 ・ ○月あたり時間外業務時間は平成29年度比で10%削減できているが、月かまり3の時間外業務は一般に表さな部活動の活動状況の確認と部活動に係る分からと体養も、活動時間を表述といて、関連を表されて、 の学の表述による部活動の活動状況の確認と語活動に係るかからと体養も、活動時間を表述している。 ・ のより3の時間外生の表述といて、 のより3の時間外生の観点の減少。 ・ のより3の時間外生の表述といて、 のより3の時間外生の表述といて、 のまが記載に係る方からと体養も、活動時間を表述している。 ・ のより3の時間外生の動きかけ、 の身が表述の表述を表している。 ・ のよりまで、 のまななどの表述を表している。 ・ のよりまで、 のまななどで生物の表述といて、 のまななどで生物の表述といて、 のまななどで生物の表述といて、 のまななどで生物の表述といて、 のまななどで生物の表述といて、 のまななどで生物の表述といて、 のまななどで生物の表述といて、 のまななどで生物の表述といて、 のまななどでは、 のまななどで生物の表述といて、 のまななどで生物が表述といて、 のまななどで生物の表述といて、 のまななどで生物が表述といて、 のまななどで生物になる のまななどできななどで生物が表述といて、 のまななどで生かななどで生かなどで生かななどで生かなどのようななどで生かなどのよりななどで生かなどのようななどで生かなどのよりななどで生かなどのようななどで生かななどで生かなどのよりなどのよりなどのようななどのよりななどのよりまななどで生かなどのよりなどのよりなどの表述となる のまななどのよりなどの表述となどで生かなどのよりなどのよりなどのよりなどのよりなどのよりなどのよりなどのよりなどのより									
●様々な行事において地域との連携が直んでいる。 ●様々な行事において地域との連携が直んでいる。 ●様々な行事において地域との連携が直んでいる。 ●体を行事において地域との連携が直んでいる。 ●体を発育事件を通行する。 「企業を、連絡高減会・公開人権教育IJR・PTA行事などの行事に使遽者が機梱 の元素・発展を推進する。 ● 「公本機工・施設・企業者を関加・PTA行事などの行事に使遽者が機梱 の元素・発展を推進する。 「全様な事情が直と理解地域との交流に一般技術の参加・企業を利益して、数な機画があった。 を変した。 ・ 「会様な事情が直と理解地域との交流に一般技術の参加・企業を利用して、数な機画が高いた。 ・ 「会様な事情が直と理解地域との交流に一般技術の参加・企業と、実体が、エページを利用して、数な機を指摘した。 ・ 「会様な事情が直と理解地域との変量を定期的に集行し、学校ホームページの活用も進んでいる。 ・ 「会様な事情が直に関いました。 ・ 「会様な事態が高が高が、に、まり、表な機画的に集めるととも、 ・ 「より、表な所用方法につい、は相談よどで生徒の学校 で、より、者な所用方法につい、は相談よびで生徒の学校 で、より、者な所用方法につい、は相談よどで生徒の学校 で、より、者な所用方法につい、な相談よどで生徒の学校 で、より、者な所用方法につい、な相談よどで生徒の学校 で、より、者な所用方法につい、な相談よどで生徒の学校 で、より、者な所用方法につい、は相談よどで生徒の学校 で、より、者な所用方法につい、な相談よどで生徒の学校 で、より、者な所用方法につい、法権法はどで生命が下記・会が選手を認めるととも に、より、者な所用方法につい、法権法はどで生命の学校 で、より、者な所用方法につい、法権法ので目が高して、 オオる意識を高める。 ・ 「メールを記り、本権に ガオる指導の変数を図るとともに関係 がする情報の変数を図るとともに関係 がする情報の変数を図るとともに関係 がする情報を示している。 ・ 「分表を明確している」・ 「分表を明確している」・ 「会議を解析を表現を表している」・ 「会議を解析を表現を表している」・ 「会議を解析を表している」・ 「会議を表している」・ 「会議を表しないる」・ 「会議を表している」・ 「会議を表してい				職員が把握し共有している。					
の学校業・発展と構築し、PTA活動的に関わっている。 の学校業・企業機会が強加を指摘と、PTA行事などの行事に保護者が積極 の方実・発展と構造する。 の学校業・発展を構造する。 の学校業・発展を構造する。 の学校業・発展を構造する。 の学校業・公開力を担かっている。 の学校業・発展を推進する。 の学校業・発展を指摘している。 の学校業を推進する。 の学校業を発展する。 の学校業の表した。教育環境の整備 のの意味を関係のでいる。 の多種広報紙の定期発行や学校ホームページの活用も進んでいる。 の各種広報紙の定期発行や学校ホームページの活用も進んでいる。 教育環境の整備 のの意味を実する。 の多種広報紙の定期発行や学校ホームページの活用も進んでいる。 の多種広報紙の定期発行や学校ホームページの活用も進んでいる。 の多種広報紙の定期発行や学校ホームページの活用も進んでいる。 の多種広報紙の定期発行や学校ホームページの活用も進んでいる。 の多種広報紙の定期発行や学校ホームページの表に発展されて保険 を指揮的に伝えていく。 の単独を構像的に伝えていく。 の単独を指しているでは表している。 の学校業務の整備を伝え、保護者の可A活動に対する影響を含め、保護者の可A活動に対する影響を含め、保護者の可A活動に対する影響を含め、保護者の可A活動による語がある。 の月あたり時間外業務時間を平成29年度比で10%削減できているが、月ありまり時間外業務時間を平成29年度比で15% 削減。 のプルル配信ンステムを活用する。 のメルル配信ンステムを活用する。 のメルル配信ンステムを活用する。 のメルル配信システムを活用する。 のメルル配信システムを活用する。 のメルル配信システムを活用する。 のメルル配信システムを活用する。 のオルルに関している。 の学性実務な差の取組を進め、生徒に対する影響を対しましているが、月ありまり時間外業務時間を平成29年度比で15% 削減。 のプルル配信システムを活用する。 のプルル配信システムを活用する。 のオルルによる記述的の情報と認定と記述動に係る方針とでの違いに係動して、 の学校行事等の準備の簡素化、業務の軽減化。 の学校行事等の準備の簡素化、業務の軽減化。					情報共有を適宜行う。			<u> </u>	
の充実・発展を推進する。		⑥地域と連携を再構築し、PTA活動 の充実・発展を推進する。	○学校祭・進路講演会・公開人権教育LHR・PTA行事などの行事に保護者が積極		や教職員が参加・協力するなど交流を推進する。ま た、生徒会執行部と近隣地域との交流に一般生徒の参				
4 学校運営の点検と教育環境の整備 ②各種広報紙の定期発行や学校ホームページの活用をさらに発展させて情報 発信を充実する。 ① 月あたり時間外業務時間は平成29年度比で10%削減できているが、月あたり時間外業務時間を平成29年度比で15%削減。 ② 学校業務改善の取組を進め、生徒に対する指導の充実を図るとともに職員のワークライフバランスを促進する。 ② 学校業務改善の方法に対するとは、定義に対して概要者のPTA活動に係る方針のもと休養日、活動時間を設定した活動計画を作成し活動のフークライフバランスを促進する。 ② 学校業務改善の表表を図るとともに職員のワークライフバランスを促進する。 ② 学校業務改善のおり時間外業務時間は平成29年度比で10%削減できているが、月あたり時間外業務時間を平成29年度比で15%削減。 ○ 月あたり時間外業務時間を平成29年度比で15% 削減。 ○ 月あたり時間外業務の軽減化。 ○ 学校行事等の準備の簡素化、業務の軽減化。 ○ 全部活動が部活動に係る方針を守り適切に活動して					徒の成長をサポートできるように取り組むように努力 する。また、学校ホームページを利用するなどPTA				
②月あたり時間外業務時間は平成29年度比で10%削減できているが、月あたり時間外業務時間を平成29年度比で15%削減。 ③学校業務改善の取組を進め、生徒に対する指導の充実を図るとともに職員のアライフバランスを促進する。 ○部活動に係る方針のもと休養日、活動時間を設定した活動計画を作成し活動している。 ○学校行事等の準備の簡素化、業務の軽減化。 ○学校行事等の準備の簡素化、業務の軽減化。 ○全部活動が部活動に係る方針を守り適切に活動して		ページの活用をさらに発展させて情報	○各種広報誌を定期的に発行し、学校ホームページの活用も進んでいる。		に、より有効な活用方法について検討する。また、生 徒の個人情報に配慮しつつ、広報誌などで生徒の学校 での様子・PTA活動の取組を伝え、保護者のPTA活動に				
たり80時間以上の職員が複数名いる。 ③学校業務改善の取組を進め、生徒に対する指導の充実を図るとともに職員のワークライフバランスを促進する。 ○部活動に係る方針のもと休養日、活動時間を設定した活動計画を作成し活動している。 ○自動表的時間外業務80時間以上の職員の減少。 ○学校行事等の準備の簡素化、業務の軽減化。 ○全部活動が部活動に係る方針を守り適切に活動して									
対する指導の充実を図るとともに職員		⑧学校業務改善の取組を進め、生徒に対する指導の充実を図るとともに職員		○月めたり時間外業務時間を平成29年度比で15% 削減。 					
					○学校行事等の準備の簡素化、業務の軽減化。				